# 表 I-5(1) 環境影響評価の項目及びその選定理由等

	view and visco	THE RESERVE AND ADDRESS OF THE PERSON NAMED IN COLUMN	評価項目	設定	環境影響評価の項目の選定理由
	環境要	素の区分	影響要因の区分	状况	
			建設機械の稼働	0	建設機械の稼働に伴う排出ガス (二酸化窒素及び浮遊粒子状物質) が発生するおれ れがあり、対象事業実施区域及びその周囲に住居等が存在することから選定した。
			資材及び機械の運搬に用	0	資材運搬等の車両の運行に伴う排出ガス (二酸化窒素及び浮遊粒子状物質) が発生
	8		いる車両の連行		するおそれがあり、運行ルート沿いに住居等が存在することから運定した。
	大気	状物質	鉄道施設 (車両基地) の	0	車両基地におけるボイラーの稼働に伴う排出ガス (二酸化窒素及び浮遊粒子状物) がなかまない。
	M		供用	0	<ul><li>(質)が発生するおそれがあり、対象事業実施区域及びその周囲に住居等が存在することから適定した。</li></ul>
	-	-	Contract Con	Thanks !	建設機械の稼働に伴う粉じん等が発生するおそれがあり、対象事業実施区域及び
		400, 10 1, 200	建設機械の稼働	0	の周囲に住居等が存在することから選定した。
		粉じん等	資材及び機械の運搬に用	a	資材運搬等の車両の運行に伴う粉じん等が発生するおそれがあり、運行ルート沿い
			いる車両の運行	-	に住居等が存在することから選定した。
			建設機械の稼働	0	建設機械の稼働に伴う騒音が発生するおそれがあり、対象事業実施区域及びそのA 囲に住居等が存在することから選定した。
			資材及び機械の運搬に用	7545	資材運搬等の車両の運行に伴う騒音が発生するおそれがあり、運行ルート沿いに
	we he	en or	いる車両の運行	0	居等が存在することから選定した。
大	題音	NRTH:	鉄道施設(換気施設)の	0	機気施設の供用に伴う騒音が発生するおそれがあり、対象事業実施区域及びその原
M			供用		囲に住居等が存在することから選定した。
環			列車の走行(地下を走行	-	地上における列車の走行が想定されないことから、環境影響評価の項目から除外し
境	-	-	する場合を除く。)		た。 建設機械の稼働に伴う振動が発生するおそれがあり、対象事業実施区域及びその別
			建設機械の稼働	0	建設機械が移動に行う機動が光生するわてれがあり、対象事業を進め構及していた 囲に住居等が存在することから選定した。
			費材及び機械の運搬に用	0	資材運搬等の車両の運行に伴う振動が発生するおそれがあり、運行ルート沿いに
			いる車両の運行	(0)	居等が存在することから選定した。
	接動	級類	鉄道施設(換気施設)の	0	換気施設の供用に伴う振動が発生するおそれがあり、対象事業実施区域及びその人
			供用		囲に住居等が存在することから適定した。
			列車の走行(地下を走行 する場合を除く。)	-	地上における列車の走行が想定されないことから、環境影響評価の項目から除外
			列車の走行(地下を走行		10つ 地下における列車の走行に伴い土被りが小さい箇所において振動が発生するお
			する場合に取る。)	0	れがあり、対象事業実施区域及びその周囲に住居等が存在することから選定した。
	改然		別東の本部 / 様下も本部		地下における列車の走行に伴い、トンネルの立坑・斜坑付近において微気圧波が引
	圧波	微気圧波	列車の走行(地下を走行 する場合に限る。)	0	生するおそれがあり、対象事業実施区域及びその周囲に住居等が存在することから
		12.555.9412.15032			選定した。
	低周	低周波音	鉄道施設(換気施設)の 供用	0	換気施設の供用に伴う低周波音が発生するおそれがあり、対象事業実施区域及びその問題にはほどなかなステントとの選挙した。
-	波音	Secretary (Co.	団土工等又は既存の工作		の周囲に住居等が存在することから選定した。 駅、車両基地の工事に伴う濁水により、水の濃りが発生するおそれがあることから
			物の除去	0	選定した。
		Acres Mills	Live and Talk	0	トンネル(都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑)の工事に伴う立坑・イ
		水の濁り	トンネルの工事		坑からの濁水により、水の濁りが発生するおそれがあることから選定した。
	1.00		工事施工ヤード及び工事	0	工事施工ヤード及び工事用道路の設置に伴う土地の改変により、水の満りが発生。
	水質	水の汚れ	用道路の設置 切土工等又は既存の工作		るおそれがあることから選定した。 駅、車両基地の工事に伴う排水により、水の汚れが発生するおそれがあることから
			物の除去	0	歌、年四盆地ジル争に伴う併示により、水が19れが発生すられてれかめりことがで 選定した。
			797-201-20		トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑) の工事に伴うトンネル
		10000000000000000000000000000000000000	トンネルの工事	0	坑口部及び立坑・斜坑からの排水により、水の汚れが発生するおそれがあることが
		- 6	DOS AL SECTORS		ら選定した。
			切土工等又は既存の工作	0	地下駅、車両基地の工事に伴い地下水の水質及び水位への影響のおそれがあること
		1	物の除去		から選定した。 トンネル(都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑)の工事に伴い地下木。
水	-7381		トンネルの工事	0	木質及び水位への影響のおそれがあることから選定した。
環	地	地下水の水	鉄道施設(トンネル)の		トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑) の存在に伴い地下水の
璇	下 水	質及び水位	存在	0	水位への影響のおそれがあることから選定した。
	39%		鉄道施設(駅、車両基地)	0	地下駅、車両基地の存在に伴い地下水の水位への影響への影響のおそれがあるこ
			の存在	-	から進定した。
			鉄道施設(車両基地)の 供用	0	車両基地において地下水の搗水を行うことにより、地下水への影響のおそれがある ことから進定した。
			切土工等又は既存の工作		
			物の除去	0	地下駅、車両基地の工事に伴い水資源への影響のおそれがあることから選定した。
			トンネルの工事	0	トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑) の工事に伴い水資源・
	水			-	の影響のおそれがあることから選定した。
	資	水資源	鉄道施設(トンネル)の	0	トンネル(都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑)の存在に伴い木資旗・
	707	0.0000000	存在 鉄道施設(駅。車両基地)	7.5	の影響のおそれがあることから選定した。
			鉄道地区(駅) 単円条地/ の存在	0	地下駅、車両基地の存在に伴い水資源への影響のおそれがあることから選定した。
		1	鉄道施設 (車両基地) の	0	車両基地において地下水の揚水を行うことにより、水資源への影響のおそれがある

## 表 I-5(2) 環境影響評価の項目及びその選定理由等

	-	環境影響		設定	環境影響評価の項目の選定理由	
	環境要	素の区分	影響要因の区分	状况		
	地形び地質	重要な地形 及び地質	工事施工ヤード及び工事 用道路の設置	0	工事施工ヤード及び工事用道路の設置に伴う土地の改変により、重要な地形及び計 質への影響のおそれがあることから選定した。	
			鉄道施設(トンネル)の 存在	0	トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑) の存在に伴う土地の6 変により、重要な地形及び地質への影響のおそれがあることから選定した。	
			鉄道施設(地表式又は梱 割式)の存在	-	地表式又は振削式の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から除外した。	
			鉄道施設(嵩上式)の存 在	-	嵩上式(高架橋・橋梁)の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から 除外した。	
			鉄道施設(車両基地)の 存在	0	車両基地の存在に伴う土地の改変により、重要な地形及び地質への影響のおそれがあることから選定した。	
			切土工等又は既存の工作 物の除去	0	地下駅、車両基地の工事に伴う地下水の水位への影響により、地盤沈下が発生すく おそれがあることから選定した。	
			トンネルの工事	0	トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑) の工事に伴う地下木の水位への影響により、地盤沈下が発生するおそれがあることから選定した。	
土壤	地盤	地盤沈下	鉄道施設(トンネル)の 存在	0	トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑) の存在に伴う地下木の木位への影響により、地盤沈下が発生するおそれがあることから選定した。	
に保			鉄道施設 (駅、車両基地) の存在	0	地下駅、車両基地の存在に伴う地下水の水位への影響により、地盤沈下が発生する おそれがあることから選定した。	
る歳			鉄道施設 (車両基地) の 供用	0	車両基地において地下水の揚水を行うことにより、地盤沈下が発生するおそれがあることから選定した。	
境モ	WE	252222	切土工等又は既存の工作 物の除去	0	駅、車両基地の工事に伴う発生土により土壌汚染のおそれがあることから選定した。	
の他	土壌	土壤污染	トンネルの工事	0	トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑) の工事に伴う発生土により土壌汚染のおそれがあることから進定した。	
の環境		日照阻害	鉄道施設(富上式)の存 在	-	富上式(高架橋・橋梁)の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から 除外した。	
宛			鉄道施設 (換気施設) の 存在	0	機気施設の存在に伴い日開阻害が発生するおそれがあり、対象事業実施区域及び- の周囲に住居等が存在することから選定した。	
	その他の	電波障害	鉄道施設 (換気施設) の 存在	0	機気施設の存在に伴い電波障害が発生するおそれがあり、対象事業実施区域及びそ の周囲に住居等が存在することから選定した。	
		文化財	切土工等又は既存の工作 物の除去	0	駅。車両基地の工事に伴い、文化財への影響のおそれがあることから進定した。	
	環境 要素		トンネルの工事	0	トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑) の工事に伴い、文化 への影響のおそれがあることから選定した。	
	-EELWIN		工事施工ヤード及び工事 用道路の設置	0	工事施工ヤード及び工事用道路の設置に伴う土地の改変により文化財への影響の おそれがあることから選定した。	
			鉄道施設(トンネル)の 存在	0	トンネル (トンネル坑口部、立坑・斜坑) の存在に伴う土地の改変により文化財・ の影響のおそれがあることから選定した。	
			鉄道施設 (駅。車両基地) の存在	0	駅、車両基地の存在に伴う土地の改変により文化財への影響のおそれがあることが ら進定した。	
- 1		重要な種及び注目すべ き生息地	建設機械の稼働	0	建設機械の稼働に伴う騒音・振動等により対象事業実施区域及びその周囲で重要が 種及び往日十べき生息地への影響のおそれがあることから選定した。	
			資材及び機械の連撮に用 いる車両の運行	0	資材運搬等の車両の運行に伴う騒音・振動等により対象事業実施区域及びその周U で重要な種及び注目すべき生息地への影響のおそれがあることから選定した。	
			切土工等又は既存の工作 物の除去	0	駅、車両基地の工事に伴う排水等により対象事業実施区域及びその周囲で重要な利 及び注目すべき生息地への影響のおそれがあることから選定した。	
			トンネルの工事	0	トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑) の工事に伴うトンネル 坑口部及び立坑・斜坑からの排水等により対象事業実施区域及びその周囲で重要が 種及び注目すべき生息地への影響のおそれがあることから遺定した。	
h 41b			工事施工ヤード及び工事 用道路の設置	0	工事施工ヤード及び工事用道路の設置に伴う土地の改変により対象事業実施区域 及びその周囲で重要な種及び注目すべき生息地への影響のおそれがあることかく 適定した。	
			鉄道施設 (トンネル) の 存在	0	トンネル (立坑・斜坑) の存在に伴う土地の改変及び地下水位等の変化により対象 事業実施区域及びその期間で重要な種及び注目すべき生息地への影響のおそれた あることから選定した。	
			鉄道施設(地表式又は掘 割式)の存在	-	地表式又は掘削式の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から除外した。	
			鉄道施設 (富上式) の存 在	-	第上式(高架橋・橋梁)の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から 除外した。	
			鉄道施設 (駅、車両基地) の存在	0	駅、車両基地の存在に伴う土地の改変により対象事業実施区域及びその周囲で重要 な種及び注目すべき生息地への影響のおそれがあることから選定した。	
_			14 34a		CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF	

## 表 I-5(3) 環境影響評価の項目及びその選定理由等

-		評価項目	設定	環境影響評価の項目の選定理由
環境要	素の区分	影響要因の区分	状况	The state of the s
		切土工等又は既存の工作 物の除去	0	駅、車両基地の工事に伴う排水等により対象事業実施区域及びその周囲で重要な利及び群落への影響のおそれがあることから選定した。
		トンネルの工事	0	トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑)の工事に伴う立坑・f 坑からの排水等により対象事業実施区域及びその周囲で重要な種及び群落への影響のおそれがあることから選定した。
		工事施工ヤード及び工事 用道路の設置	0	工事施工ヤード及び工事用道路の設置に伴う土地の改変により対象事業実施区が 及びその周囲で重要な種及び群落への影響のおそれがあることから運定した。
NAT 410	重要な種及 び群落	鉄道施設 (トンネル) の 存在	0	トンネル (立坑・斜坑) の存在に伴う土地の改変及び地下水位等の変化により対す事業実施区域及びその周囲で重要な種及び群落への影響のおそれがあることかり
		鉄道施設(地表式又は棚 割式)の存在	-	選定した。 地表式又は捆割式の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から除外 た。
		鉄道施設(案上式)の存 在	-	富上式(高架橋・橋梁)の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から 除外した。
		鉄道施設 (駅、車両基地) の存在	0	駅、車両基地の存在に伴う土地の改変により対象事業実施区域及びその周囲で重り な種及び群落への影響のおそれがあることから選定した。
		建設機械の稼働	0	建設機械の稼働に伴う騒音・振動等により対象事業実施区域及びその周囲で地域を 特徴づける生態系への影響のおそれがあることから選定した。
		資材及び機械の連搬に用 いる車両の運行	0	資材運搬等の車両の連行に伴う騒音・振動等により対象事業実施区域及びその周Dで地域を特徴づける生態系への影響のおそれがあることから選定した。
		切土工等又は既存の工作 物の除去	0	駅、車両基地の工事に伴う排水等により対象事業実施区域及びその周囲で地域を9 徴づける生態系への影響のおそれがあることから選定した。
		トンネルの工事	0	トンネル (都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑)の工事に伴う立坑・f 坑からの排水等により対象事業実施区域及びその周囲で地域を特徴づける生態を への影響のおそれがあることから選定した。
生態系	地域を特徴を行る生態	工事施工ヤード及び工事 用道路の設置	0	工事施工ヤード及び工事用道路の設置に伴う土地の改変により対象事業実施区 及びその周囲で地域を特徴づける生態系への影響のおそれがあることから選定! た。
		鉄道施設(トンネル)の 存在	0	トンネル (立坑・斜坑) の存在に伴う土地の改変及び地下水位等の変化により対: 事業実施区域及びその周囲で地域を特徴づける生態系への影響のおそれがある。 とから選定した。
		鉄道施設(地表式又は掘 割式)の存在	S	地表式又は推開式の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から除外 た。
		鉄道施設(嵩上式)の存 在	.5	嵩上式(高架橋・橋梁)の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から 除外した。
		鉄道施設 (駅、車両基地) の存在	0	駅、車両基地の存在に伴う土地の改変により対象事業実施区域及びその周囲で地域を特徴づける生態系への影響のおそれがあることから選定した。
	主要な眺望 点及び最近 資源を眺望 主要な眺望	鉄道施設(トンネル)の 存在	0	トンネル(立坑・斜坑)の存在に伴い主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺! 景観への影響のおそれがあることから選定した。
景観		鉄道施設(地表式又は掴 割式)の存在	-	地表式又は細制式の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から除外 た。
AC MIC.		鉄道施設(富上式)の存 在	2	嵩上式(高架橋・横梁)の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から 除外した。
		鉄道施設(換気施設)の 存在	0	機気施設の存在に伴い主要な眺望点及び景観資産並びに主要な眺望景観への影響 のおそれがあることから選定した。
	主要な人と自然との話れるいの活動の場	切土工等又は既存の工作 物の除去	0	駅、車両基地の工事に伴い、主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響の; それがあることから進定した。
		トンネルの工事	0	トンネル (立坑・斜坑) の工事に伴い、主要な人と自然との触れ合いの活動の場の影響のおそれがあることから遺定した。
I to glo de 1		工事施工ヤード及び工事 用道路の設置	0	工事施工ヤード及び工事用道路の設置に伴う土地の改変により主要な人と自然 の触れ合いの活動の場への影響のおそれがあることから選定した。
人と目然と の触れ合い の活動の場			0	トンネル (立坑・斜坑) の存在に伴い主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響のおそれがあることから適定した。
- 八田 瀬 の入場		鉄道施設(地表式又は捌 割式)の存在	-	地表式又は抽刺式の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から除外した。
		鉄道施設(富上式)の存 在	=	嵩上式(高架橋・模梁)の存在が想定されないことから、環境影響評価の項目から 添外した。
		鉄道施設 (換気施設) の 存在	0	換気施設の存在に伴い主要な人と自然との触れ合いの活動の場への影響のおそれ があることから進定した。
	建設工事に	切土工等又は既存の工作 物の除去	0	駅、車両基地の工事に伴い建設発生士及び建設廃棄物が発生するおそれがあること から選定した。
廃棄物等	伴う副産物	トンネルの工事	0	トンネル(都市トンネル部、山岳トンネル部、立坑・斜坑)の工事に伴い建設発生 土及び建設廃棄物が発生するおそれがあることから選定した。
	疟繁物	鉄道施設(駅、車両基地) の供用	0	駅、車両基地の供用に伴い、一般廃棄物及び産業廃棄物が発生するおそれがある; とから選定した。

### 表 I-5(4) 環境影響評価の項目及びその選定理由等

i i	環境影響評価項目			環境影響評価の項目の選定理由	
環境要素の区分 影響要因の区分		状况			
-	豊宝効果ガス	建設機械の稼働	0	建設機械の稼働に伴い温室効果ガスが発生するおそれがあることから選定した。	
湿室効果ガ		資材及び機械の連搬に用 いる車両の運行	0	資材運搬等の車両の運行に伴い湿室効果ガスが発生するおそれがあることから選 定した。	
		鉄道施設(駅、車両基地) の供用	0	駅、車両基地の供用に伴い温室効果ガスが発生するおそれがあることから選定した。	

- 1. この表において「⊕」は国土交通省令における参考項目、「○」は参考項目以外に事業者により追加した項目を示す。2. この表において、網掛けの儀所は大阪府において本事業における影響が想定されないため、環境影響評価の項目に選定しなかった項目を示す。3. この表において「粉じん等」とは、粉じん。ばいじん及び自動車の走行又は建設機械の稼働に伴い発生する浮遊粒子状物質をいう。
- 4. この表において「重要な地形及び地質」、「重要な種」及び「重要な種及び群落」とは、それぞれ学術上又は、希少性の観点から重要なもの
- 5. この表において「注目すべき生息地」とは、学術上若しくは希少性の観点から重要である生息地又は、地域の象徴であることその他の理由 により注目すべき生息地をいう。 6. この表において「主要な眺望点」とは、不特定かつ多数の者が利用している景観資源を眺望する場所をいう。 7. この表において「主要な眺望景観」とは、主要な眺望点から景観資源を眺望する場合の眺望される景観をいう。

- B. この表において「主要な人と自然との触れ合いの活動の場」とは、不特定かつ多数の者が利用している人と自然との触れ合いの活動の場を
- 9. この表において「切土工等」とは、切土をする工事その他の相当量の建設発生土又は汚泥を発生させる工事をいう。
- 10. この表において「工事施工ヤード」とは、工事中の作業に必要な区域として設置される区域をいう。

### 5 環境影響評価項目に係る調査、予測及び評価の手法並びにその選定理由

本事業の実施に伴い、駅、車両基地やトンネルなど、様々な施設を設置する予定である。これらの施設等の位置、規模等については、計画を具体化し、適切な調査、予測・評価を行う。施設ごとの標準的な調査項目、地点数等は、表 I-6 に示すとおりである。今後の現地調査の実施にあたっては、路線や施設の位置・規模、地域特性や専門家の意見等を踏まえ、調査項目、地点等を設定することとする。

環境影響評価の項目についての調査、予測及び評価の手法並びにその選定理由は、表 I-7 に示すとおりである。

### 【地下駅周辺】

地下駅周辺の現地調査の考え方は、表I-6(1)に示すとおりである。なお、調査地点は基本的な考え方を示したものである。

表 I-6(1) 地下駅周辺の現地調査の考え方

環境要素	調查項目	調査地点及び範囲設定の考え方	調査頻度・期間
大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	一般環境大気:地下駅の工事を対象に、民家、集落等の代表的な保全対象が存在する箇所に原則1地点設定。 道路沿道大気:地下駅の工事を対象に、工事用車両の運行が想定されるルート沿いの民家、集落等の代表的な保全対象が存在する箇所に原則1地点設定。	連続1週間×4季
	気象 (風向・風速)	一般環境大気調査地点と同様。	連続1週間×4季
顯音	騒音レベル(道路交通 騒音測定時には、交通 量も同時観測)	一般環境騒音:地下駅の工事を対象に、民家、集落等の代表的な保全対象が存在する箇所に原則1地点設定。 道路交通騒音:地下駅の工事を対象に、工事用車両の運行が想定されるルート沿いの民家、集落等の代表的な保全対象が存在する箇所に原則1地点設定。	平日の1日 (24時間) ×1回
接動	振動レベル(道路交通 振動測定時には、交通 量も同時観測)	一般環境振動:地下駅の工事を対象に、民家、集落等の代表的な保全対象が存在する箇所に原則1地点設定。 道路交通振動:地下駅の工事を対象に、工事用車両の運行が想定されるルート沿いの民家、集落等の代表的な保全対象が存在する箇所に原則1地点設定。	平日の1日(24時間) ×1回
	地盤卓越振動数	道路交通振動と同様。	大型車通過10台対象
水質	水の濁り(浮遊物質量 (SS)) 水の汚れ(水素イオン 濃度(pH) 流量	地下駅の工事を対象に、工事実施箇所の下流域の主要河川 を基本に原則1地点設定。	低水時及び豊木時の 2回
地下木	地下水の水質及び水位	地下駅の工事及び存在を対象に、民家、集落等の分布状況 及び地下水利用状況並びに水道水源井戸の分布状況等を 考慮し、現況を適切に把握できる地区に設定。	地下水質:1回 地下水位:4季
動物、植物、生態系	哺乳類、鳥類、両生類、 爬虫類、昆虫類、魚類、 底生動物、植物相及び 植生	地下駅の工事及び存在を対象に、周辺の地形等の条件を勘案して、その地域を代表する動植物の生息・生育環境を網羅できると考えられる範囲に設定。調査範囲は、地下駅から概ね600mの範囲を想定。(猛禽類は「猛禽類保護の進め方(改訂版)」(環境省)に基づく。)	対象により適期
人と自然と の触れ合い の活動の場	利用の状況及び利用 環境	地下駅の工事を対象に、周辺に分布する人と自然との触れ 合いの活動の場に調査地点を設定。調査範囲は、地下駅か ら概ね600mの範囲を想定。	場の状況を踏まえ、1 年間における適切な 時期

# 【立坑周辺】

立坑周辺の現地調査の考え方は、表 I -6(2)に示すとおりである。なお、調査地点は基本的な考え方を示したものである。

表 I-6(2) 立坑周辺の現地調査の考え方

環境要素	調査項目	調査地点及び範囲設定の考え方	調査頻度・期間
大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	一般環境大気:立坑の工事を対象に、民家、集落等の代表 的な保全対象が存在する箇所に原則1地点設定。 道路沿道大気:立坑の工事を対象に、工事用車両の運行が 想定されるルート沿いの民家、集落等の代表的な保全対象 が存在する箇所に原則1地点設定。	連続1週間×4季
	気象 (風向・風速)	一般環境大気調査地点と同様。	連続1週間×4季
騒音	騒音レベル(道路交通 騒音測定時には、交通 量も同時観測)	一般環境騒音:立坑の工事及び換気施設の供用を対象に、 民家、集落等の代表的な保全対象が存在する箇所に原則1 地点設定。 道路交通騒音:立坑の工事を対象に、工事用車両の運行が 想定されるルート沿いの民家、集落等の代表的な保全対象 が存在する箇所に原則1地点設定。	平日の1日(24時間) ×1回
振動	振動レベル(道路交通 振動測定時には、交通 量も同時観測)	一般環境振動:立坑の工事及び換気施設の供用を対象に、 民家、集落等の代表的な保全対象が存在する箇所に原則1 地点設定。 道路交通振動:立坑の工事を対象に、工事用車両の運行が 想定されるルート沿いの民家、集落等の代表的な保全対象 が存在する箇所に原則1地点設定。	平日の1日(24時間) ×1回
	地盤卓越振動数	道路交通振動と同様。	大型車通過10台対象
水質	木の濁り (浮遊物質量 (SS)) 木の汚れ (木素イオン 濃度 (pH)) 流量	立坑の工事を対象に、工事実施箇所の下流域の主要河川を 基本に原則1地点設定。	低水時及び豊木時の 2回
地下水	地下水の水質(水温、 pH、透視度、電気伝導 度)、水位	立坑の工事及び存在を対象に、民家、集落等の分布状況及 び地下水利用状況並びに水道水源井戸の分布状況等を考 慮し、現況を適切に把握できる地区に設定。	地下水質;1回 地下水位:4季
電波障害	画質評価、電界強度	換気施設の存在を対象に、民家、集落等保全対象が存在す る箇所における影響範囲を想定して複数地点設定。	10
動物、植物、生態系	哺乳類、鳥類、両生類、 爬虫類、昆虫類、魚類、 底生動物、植物相及び 植生	立坑の工事及び存在を対象に、周辺の地形等の条件を勘案 して、その地域を代表する動植物の生息・生育環境を網羅 できると考えられる範囲に設定。調査範囲は、立坑から概 ね 600m の範囲を想定。 (猛禽類は「猛禽類保護の進め方 (改訂版)」(環境省)に基づく。)	対象により適期
景観	眺望景観の状況	換気施設の存在を対象に、不特定多数の人が眺望景観を楽 しむために利用する地点、かつ対象となる構造物を眺望可 能な箇所に設定。	主要な眺望点の状況 を踏まえ、1年間にお ける適切な時期
人と自然と の触れ合い の活動の場	利用の状況及び利用 環境	立坑の工事及び換気施設の存在を対象に、周辺に分布する 人と自然との触れ合いの活動の場に調査地点を設定。調査 範囲は、立坑から概ね 600m の範囲を想定。	場の状況を踏まえ、1 年間における適切な 時期

# 【車両基地周辺】

車両基地周辺の現地調査の考え方は、表 I -6(3)に示すとおりである。なお、調査地点は基本的な考え方を示したものである。

表 I-6(3) 車両基地周辺の現地調査の考え方

環境要素	調査項目	調査地点及び範囲設定の考え方	調査頻度・期間
大気質	二酸化窒素 浮遊粒子状物質	一般環境大気:車両基地の工事及び供用を対象に、民家、 集落等の代表的な保全対象が存在する箇所に原則 1 地点 設定。 道路沿道大気:車両基地の工事を対象に、工事用車両の運 行が想定されるルート沿いの民家、集落等の代表的な保全 対象が存在する箇所に原則 1 地点設定。	連続1週間×4季
	気象 (風向・風速)	一般環境大気調査地点と同様。	連続1週間×4季
騒音	騒音レベル (道路交通騒音測定 時には、交通量も同時 観測)	一般環境騒音:車両基地の工事を対象に、民家、集落等の 代表的な保全対象が存在する箇所に原則1地点設定。 道路交通騒音:車両基地の工事を対象に、工事用車両の運 行が想定されるルート沿いの民家、集落等の代表的な保全 対象が存在する箇所に原則1地点設定。	平日の1日(24時間) ×1回
振動	振動レベル (道路交通振動測定 時には、交通量も同時 観測)	一般環境振動:車両基地の工事を対象に、民家、集落等の 代表的な保全対象が存在する箇所に原則1地点設定。 道路交通振動:車両基地の工事を対象に、工事用車両の運 行が想定されるルート沿いの民家、集落等の代表的な保全 対象が存在する箇所に原則1地点設定。	平日の1日(24時間) ×1回
	地盤卓越振動数	道路交通振動と同様。	大型車通過 10 台対象
木質	木の濁り (浮遊物質量 (SS)) 木の汚れ (水素イオン 濃度 (pH)) 流量	車両基地の工事を対象に、工事実施箇所の下流域の主要河 川を基本に原則1地点設定。	低水時及び豊水時の 2回
地下水	地下水の木質(木温、 pH、透視度、電気伝導 度)及び水位	車両基地の工事、存在及び供用(地下水の揚水)を対象に、 民家、集落等の分布状況及び地下水利用状況並びに水道水 源井戸の分布状況等を考慮し、現況を適切に把握できる地 区に設定。	地下水質:1回 地下水位:4季
動物、植物、 生態系	哺乳類、鳥類、両生 類、爬虫類、昆虫類。 魚類、底生動物、植 物相及び植生	車両基地の工事及び存在を対象に、周辺の地形等の条件を勘案して、その地域を代表する動植物の生息・生育環境を調羅できると考えられる範囲に設定。調査範囲は、土地改変区域から概ね600mの範囲を想定。(猛禽類は「猛禽類保護の進め方(改訂版)(環境省)」に基づく。)	対象により適期
人と自然と の触れ合い の活動の場	利用の状況及び利用 環境	車両基地の工事を対象に、周辺に分布する人と自然との触れ合いの活動の場に調査地点を設定。調査範囲は、土地改変区域から概ね600mの範囲を想定。	場の状況を踏まえ、1 年間における適切な 時期

表 I -7(1) 環境影響評価項目に係る調査、予測及び評価の手法並びにその選定理由

	-	境影響評		100000000000000000000000000000000000000			手法の 選定理由
	200	要素 区分	影響要因 の区分	調査の基本的な手法	予測の基本的な手法	評価の手法	
大気環境	大気質	二室浮子質 化 粒物	工事の実施 ・建設機 ・建設機	1. 調査すべき項目 気象(風向・風速)、窒素酸 化物及び浮遊本的な手法 (文献調査) ・地方気象台等における気象理 ・地方気象台等における気象理 ・必要の必要に容料で のででで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 ので、 の	1. 予測項機 の いん で が が が が が が が が が が が が が が が が が が	①回避又価 (②基準では、 (②基準では、 (②基準では、 (②基準では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、 ()では、)では、 ()では、)では、 ()では、)では、 ()では、)では、 ()では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、 ()では、)では、)では、)では、)では、)では、)では、。 ()では、)では、)では、)では、)では、)では、。 ()では、)では、)では、)では、)では、。 ()では、)では、)では、)では、)では、。 ()では、)では、)では、)では、)では、)では、。 ()では、)では、)では、)では、)では、)では、。。。。。。。。。。。。。。。。	一広らる
			工事の あ 表 を 機械用の 運 を で 機 に 両 の の の の の の の の の の の の の	1. 無監察(風速)、整響( 知象(風速)、整質( 2. 調金をは、 2. 調金をは、 2. 調金をは、 2. 調金をは、 2. 調金をは、 2. 調金をは、 2. 調金をは、 2. 調金をは、 2. 調金をは、 3. 調金をでは、 3. 調金をは、 3. 調金をは、 3. 調金をは、 3. 調金をは、 3. 調金をは、 3. 調金をは、 3. 調金をは、 3. 調金をは、 3. 調金をは、 3. 調金をは、 4. 調金をといるが、 4. またいるが、 4. またいるが、 4	質材運行素質の本の 運行素質 本的な 運行素質 本的な 2. 予法プル 3. 予調を地域を 3. 予調を 3. 予調を 3. 予調を 3. 予調を 4. 子語を 2. 予述を 3. 予調を 3. 予調を 4. 子語を 2. 予述を 4. 子語を 2. 予述を 4. 子語を 2. 予述を 4. 子語を 2. 予述を 4. 子語を 2. 予述を 4. 子語を 4. 子語を 5. 子語を 5. 子語を 5. 子語を 6. 子語を 6	①回避評準合・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「 ・「	成られる手

注、評価の手法の「①回避又は低減に係る評価」は、事業者の実行可能な範囲で回避又は低減がなされているか、見解 を明らかにすることにより行う。